

膠原病内科研修プログラム

一般目標(GIO = General Instructive Objectives)

指導医の指導の下、チームの一員としてリウマチ膠原病疾患患者の診療にあたる。初期評価、鑑別診断の立てかたについて必要な知識の習得を行い診断及び治療に必要な技術を身につける。

行動目標(SBOs = Specific Behavioral Objectives)

- (1) 関節リウマチおよび膠原病の病因、病態生理、臨床症状に関する理解を深める。診断方法、検査手法およびその解釈、治療法について学ぶ。
- (2) 病歴聴取、身体所見に基づき鑑別診断を挙げ、必要な検査の選択方法を身につける。
- (3) ステロイドや生物学的製剤を含む免疫抑制剤の特徴、適応、有害事象およびその対処方法について理解する。
- (4) 病棟管理及び他職種とのチーム医療を通じてコミュニケーションスキルを向上させる。

研修方略(LS = Learning Strategies)

- (1) 入院患者の担当医として病歴聴取、身体所見の取り方を習得する。
- (2) 指導医による指導を受けながら一般検査及び免疫学的検査を提出し、適切に評価をする。
- (3) 指導医と共に患者及び家族に説明を行いインフォームド・コンセントの手法を習得する。
- (4) ステロイド剤や生物学的製剤を含む免疫抑制剤、NSAIDs の使用法を習得し、有害事象につき患者や家族に説明できる。
- (5) 病棟カンファレンス、内科カンファレンスにおいて症例提示、報告を行うことで口頭プレゼンテーション、カルテ記載方法について習熟する。
- (6) 学会や研究会、症例検討会へ積極的に参加する。

評価(EV = Evaluation)

(1) 自己評価

EPOC および症例レポート、自己評価表を用いて自己評価を行う。

(2) 指導医による評価

EPOC および症例レポートを用いて評価を行う。

(3) コメディカルによる評価

EPOC および評価表を用いて評価する。

(4) 研修医による評価

EPOC および評価表を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）、プログラム内容を評価する。